

第2回総合教育会議

日 時 平成31年3月28日(木) 午後4時～午後5時22分

場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 16人

総合教育会議構成員

市長 西岡 真一郎

教育長 大熊 雅士

教育長職務代理者 鮎川 志津子

教育委員 福元 弘和

教育委員 浅野 智彦

関係者

学校教育部長 川合 修

生涯学習部長 藤本 裕

庶務課長 三浦 真

学務課長 河田 京子

指導室長 浜田 真二

統括指導主事 平田 勇治

生涯学習課長 関 次郎

オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長兼生涯学習課スポーツ振興係長

内田 雄介

図書館長 菊池 幸子

公民館長 西村 直邦

庶務課庶務係長 中島 憲彦

事務局

企画政策部長 天野 建司

企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課係長 古賀 誠

企画政策課主任 東條 俊介

企画政策課主事 齋藤 彬子

欠席者 岡村 理栄子 教育委員

傍聴者 4人

(午後4時00分開会)

◎西岡市長 皆様、こんにちは。ただいまから平成30年度第2回総合教育会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。

本日の進行につきましては、会議の主宰であります私が務めさせていただきます。

平成30年度の年度末となるこの時期に御参集いただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

先日は、小学校、中学校におきまして修了式、卒業式が執り行われるなど、教育長、教育委員の皆様におかれましては、大変お忙しい日々を過ごしていただいたことと思います。御尽力いただきまして、ありがとうございます。私も第一小学校、第一中学校卒業式に出席させていただきました。子どもたちの希望に満ちた真っ直ぐなまなざしを見て、小金井の明るい未来を確信したところであります。第一小学校も第一中学校も大変すばらしい卒業式でございました。また、代理出席をしていただいた担当からも、どの学校も心温まる大変すばらしい卒業式でありましたとの報告を受けております。

本日は、今年度最後の総合教育会議となります。平成30年度の総括や来年度への展望、小金井市の教育についての委員の皆様からの忌憚のない御意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

平成30年度は、市制施行60周年の大きな節目を迎える年でありまして、記念式典を開催するとともに、たくさんの事業が続きまして、教育長並びに教育委員の皆様方にも、多大な御協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

また、去る3月27日、小金井市議会第1回定例会が閉会いたしました。上程させていただきました全ての議案を御議決いただきました。教育費を含めた平成31年度小金井市一般会計予算も可決成立していただきました。来年度に向けまして、今日は意義のある総合教育会議としたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

小金井市の学校教育につきましては、平成31年度の施政方針でも述べさせていただきました。お手元に私の施政方針、それから市報こがねい4月1日号を参考資料としてお配りしておりますので、御参照いただきたいと思います。新学習指導要領2020年への移行を踏まえた環境を整備するなど、本市の教育行政をより一層推進してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、次第に沿って議事を進めてまいります。

はじめに、議題第1号、教育委員会事業に係る平成30年度総括及び平成31年度展望についてを議題といたします。

教育委員会からの説明をお願いいたします。

◎大熊教育長 それでは、学校教育部、生涯学習部から順次御説明申し上げます。

◎川合学校教育部長 それでは、学校教育部の事業について、平成30年度の総括と31年度の展望を申し上げます。

はじめに、庶務課関連でございます。

平成30年度につきましては、同年9月1日より、市内全ての小中学校において敷地内禁煙を実施したほか、大阪府で発生したブロック塀の倒壊事故を教訓として、本市においても、第一小学校及び緑小学校に、現行法令に適さないブロック塀が存在することが確認されたことから、予備費等を活用しながら、速やかに撤去工事を行いました。また、施設整備関連では、小学校4校、中学校2校の非構造部材改修工事を実施し、全校の非構造部材改修工事が完了するとともに、第一小学校の給食用リフト改修工事、緑小学校の屋上防水改修工事、第一中学校及び東中学校のプール循環ろ過設備改修工事、第二中学校のトイレ改修工事などを実施して、全ての工事について、予定どおり完了しております。

次に、平成31年度におきましては、学校施設管理業務につきまして、これまで市内14校のうち、中学校5校及び第二小学校、東小学校、前原小学校、南小学校の小学校4校を加えた9校で、民間委託を実施しておりますが、平成31年4月から、更に第三小学校と第四小学校の2校を加え、11校で施設管理業務の委託化を実施いたします。この事業は、学校施設等管理業務の機能はそのままに、費用対効果に優れた手法でございますので、残る3校についても、平成32年4月から導入できるよう準備を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、平成31年度に予定する施設整備についてでございます。主な工事予定といたしましては、第一小学校の給食室の設備改修及びプール循環ろ過設備工事、前原小学校のプール及び校内のトイレ工事、緑小学校の給食室給湯配管工事、並びに小学校5校で給食室トイレ等工事を行うほか、第二中学校の屋上防水工事、東中学校のトイレ及び受水設備工事、緑中学校の屋外階段等工事を計画しております。引き続き、子どもたちの安全・安心を最優先に、学校施設としてふさわしい快適な学習環境の整備に努めてまいります。

次に、学務課関連でございます。

平成30年度につきましては、多様化している就学相談に当たり、適切な就学につなげるため、就学相談専門の非常勤嘱託職員1名を増員したほか、周年行事関係経費では、緑小学校の創立50周年に当たり、記念品購入と記念誌の作成等を行いました。

また、車椅子階段昇降機賃貸借では、車椅子等で学校生活を送っている生徒の上下階の移動のため、階段昇降機2台を導入し、併せて全校の理科室にGHPエアコンの設置が完了しております。

さらに、平成21年度に導入した校務用パソコンについては、全校分の入替えが完了し、教育環境の充実に資することができたものと考えております。

続きまして、平成31年度の事業でございます。

周年行事関係経費では、東小学校の開校60周年に当たり、記念品購入や記念誌作成等を行い、すばらしい60周年を迎えられるよう、学校と協力して事業を進めてまいります。

また、エアコンの設置に関しましては、引き続き取り組む必要があることから、小学校の普通教室（学級数増分）と図工室、中学校の美術室と技術室に新規に設置するほか、屋内運動場

へのエアコン設置につきましては、第四小学校の体育館に試行的な導入を行い、より一層、教育環境の充実に努めてまいります。

なお、教育用ICT機器の導入では、セキュリティレベルの高いネットワーク環境を構築し、情報端末を各校40台導入し、児童・生徒3人に1台の割合を目標に整備を進める予定となっております。

次に、指導室関係でございます。

平成30年度は、新しい学習指導要領の移行期間に当たり、授業改善に努めてまいりました。小金井市教育研究会と連携し、授業研究を充実させてまいりました。

また、スクールソーシャルワーカーを非常勤化、中学校部活動外部指導員の配置、特別支援教育学習指導員・特別支援教育支援員の増員により、教員の負担を軽減させ、体制の強化を図りました。

また、市制施行60周年記念事業では、市内小中学校による音楽会等を実施しました。東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業では、外部講師による講演や体験活動を通じて、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図ってまいりました。

続きまして、平成31年度は、スクールソーシャルワーカーが支援する児童・生徒への援助方針に対して、スーパーバイザーを設置、新学習指導要領における外国語教育に向けて外国人英語指導を拡充、ICT・プログラミング教育に関する情報教育アドバイザーをお招きし、教職員のスキルアップと児童・生徒への手厚い指導に取り組めます。

また、公募市民を含むいじめ防止条例検討委員会を設置し、いじめ防止条例の原案策定を進めていく予定となっております。

学校教育部については以上でございます。

◎**藤本生涯学習部長** それでは、生涯学習部の事業について、平成30年度の総括と平成31年度の展望を申し上げます。

はじめに、生涯学習課でございます。

まず、放課後子ども教室事業ですが、平成30年度では、放課後子ども総合プラン協議会を先行的に第三小学校、東小学校、前原小学校、本町小学校で立ち上げ、放課後子ども教室と小学校及び学童保育所の関係者の一層の連携を図っているところです。平成31年度では、全小学校区において協議会を設置、また開催する予定です。また、平成31年度から、放課後子ども教室のスタッフの謝礼を増額し、さらに、本町小学校を先行実施校として、放課後子ども教室を全日開催するなど、放課後の子どもの居場所づくりの充実に向けて、関係機関とも連携を図りながら進めてまいります。

清里山荘につきましては、平成31年3月31日をもって、指定管理期間が終了することから、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間を指定期間とする指定管理者について、新たに指定したところです。集客数が落ちている清里山荘の集客増に向けて、新たな指定管理者とともに方策を練ってまいりたいと考えております。具体的には、指定管理

者からも清里山荘再生計画として、かつてのように年間利用者数1万人とする目標が提案されておりまして、その実現に向けて、教育委員会も連携していく所存でございます。

次に、市制施行60周年に当たる今年度におきましては、多くの関連事業を実施したところであり、文化財関係では、市史編さんの通史編及び資料編、さらに、名勝小金井サクラクリアファイルの作成を行いました。催し物では昭和の小金井写真展、小金井市の絵図展、古地図でたどる小金井の幕末・明治についての講演会などを行いました。スポーツ関連では、60イニングティーボール大会を昨年9月22日に行い、379人の参加がありました。また、特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会を10月7日に開催し、約2,800人の参加がありました。さらに、今年1月26日にはドッチビー大会を実施し、196人の小学生が参加しました。それぞれ多くの市民の方などに参加をいただき、大いに盛り上がりました。

そして、いよいよ開催まで500日を切りました東京2020オリンピック・パラリンピックですが、本件につきましては、後ほど議題2の東京2020オリンピック・パラリンピック大会に係る機運醸成についての中で、御報告申し上げます。

また、文化財関係のうれしい出来事としましては、旧中村研一邸主屋及び茶室（花侵庵）が、市内初の国の登録有形文化財に登録されることとなったことが挙げられます。

続きまして、図書館関係でございます。

平成30年度は、市制施行60周年記念事業といたしまして、図書館本館で、定点撮影のパネル展示を行いました。図書館では平成2年度より、毎年10月1日を基準日として、市内の約20か所の定点撮影を行っております。同じ時期に同じ場所を撮影することで、市内の移り変わりの様子を写真で記録し、保存しております。その写真をパネルにして、10月23日から12月28日までの期間、展示内容を入れ替えながら、図書館本館にて展示を行い、市民の皆様に御覧いただきました。

続いて、改修工事関係でございます。図書館本館の階段周辺の内壁ですが、老朽化が進み、壁面タイルに亀裂が見られる箇所があったことから、本年1月下旬から3月下旬にかけて、改修工事を実施いたしました。本年度は、外壁等の劣化調査委託も実施しており、これを踏まえて、平成31年度に外壁改修を実施することを計画しております。

最後に、平成31年度の新規事業を2つ御説明いたします。1つ目は、市内小学校へ図書を貸し出す団体貸出パックの作成です。現在、年間で2万7～8千冊の図書を学校へ貸し出しし、本館では配送も行っております。各学級の保護者の方が来館されて、借りる図書を選書されていきますが、この作業負担を軽減し、更に利用拡大を図る目的で、図書館職員が選んだ図書を団体貸出パックとして、あらかじめ一定程度御用意するものです。2件目は、貫井北分室に利用者インターネット端末を設置するものです。本館では平成28年度に1台設置いたしました。利用も順調でございますので、この度、貫井北分室にも設置し、調べ物等に御活用いただく予定です。

続きまして、公民館関係でございます。

平成30年度につきましては、公民館で活動している団体の皆さんが利用する展示パネルを購入し、東分館で保管する状態の悪い展示パネルを買い換えました。

平成31年度につきましては、かねてから利用者の方々から要望のありました東分館の可動式間仕切りパネルについて、破損部品の交換等を実施し、間仕切りパネルの開け閉めの労力を軽減いたします。また、貫井北分館の施設管理職員の配置を見直し、東分館の土日祝日の昼間の職員を2名体制とします。これにより、利用率の高い東分館で、間仕切りパネルの設置してある1階集会室と2階学習室を有効に活用できるようにと考えています。

また、貫井南分館につきましては、学習室A・B間の可動式間仕切りを、こちらは撤去・新設し、遮音性に優れ、防音効果のあるものに対応します。

なお、公民館の将来像を含めた公民館中長期計画の策定につきましては、引き続き公民館運営審議会の意見を聞きながら進めていきたいと考えています。

生涯学習部については以上でございます。

◎西岡市長 ありがとうございます。それでは、ただいまの平成30年度総括及び平成31年度の展望につきまして、委員の皆様方から御意見、御質問、御感想がありますれば、ぜひお聞かせいただきたいと思います。

◎鮎川教育長職務代理者 学校教育の庶務課関係については、大阪府で発生した痛ましい事故をきっかけとして、ブロック塀の危険性が注目される中、迅速に御対応いただいたことは非常にありがたく思っております。また、非構造部材改修工事をはじめ、各種の工事は予定どおり完了したとの御報告を受け、安心することができました。あと3日で平成31年度になりますが、次年度も、比較的大きな工事が予定されておりますので、今年度同様、円滑に学習環境の改善が図られることを期待しております。

また、今後は学校施設の長寿命化計画が策定され、老朽化に伴う大規模な修繕工事や改修工事、または改築等が行われるものと考えています。

子どもたちへの安全・安心対策をはじめ、大規模災害発生時には地域の皆様の避難所となる学校施設は、計画的に対策を進めることが重要であると考えておりますので、よろしく願いいたします。

続いて、生涯学習の生涯学習課関係について、平成31年度から全ての小学校区において、放課後子ども総合プラン協議会が設置されるとの報告がありました。

放課後の子どもたちの居場所づくりについては、市民の皆様からもニーズの高い事業だと思います。市報における市長のお言葉の中にも、子育て環境日本一と見られます。子どもたちが健全に育つためには、御家庭の力が大切なことは言うまでもありません。しかし、子育ては、御家庭だけではなく、学校や地域の皆様で力を合わせながら進めていくことが大切だと思っております。もし、御家庭で子育てを御負担に感じたり、もしくは悩みがあるならば、皆で支えて、助け合いながら子育てができる環境を整備することが重要だと思っております。そのためにも、子育ての一つの大きな柱として、放課後子ども教室事業が、より一層発展・充実するこ

とを期待しております。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎福元委員 学校教育関係について、先ほど、平成30年度には、学校の校務用パソコンについて、一気に全校の入替えが完了したとの報告がありました。

近年、先生方の働き方改革の実践については、もう待ったなしの課題となっていますが、校務用パソコンの一斉更新により、教職員の事務の効率化にも寄与するものと感じており、大変よかったと思っております。

生涯学習関係については、清里山荘の指定管理者を新たに指定したとのことで、伸び悩みを見せている利用者数の増加に向けて、新しい取組なども始まるようですが、大いに期待しているところです。

また、図書館では、市内の小学校へ図書を貸し出す団体貸出パックを作成されるとのことで、多くの方が利用され、子どもたちが本に触れる機会を拡充することは、非常にうれしい取組であると思います。

さらに公民館では、利用者の声を受けて、東分館の間仕切りパネルの修繕などにも取り組まれているとの報告がありました。その他の事業についても、各分館の利用率向上に向けた取組にも期待していきたいと思います。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎浅野委員 2点申し上げます。

1点目は、先ほど就学相談に係る専門職員の配置について説明がありましたけれども、このおかげで、大変きめ細かな対応が可能になっているとの報告を受けておりますので、このことを補足的に私のほうから申し上げておきたいと思っております。

2点目ですが、ALTの拡充等についての説明がありました。ここまで、長い期間をかけてというのでしょうか。中央教育審議会をはじめとして、関係各機関で英語の能力、特に聞くこととか話すことの能力の向上が課題となってきました。このようなことを背景にして、学習指導要領が改訂され、次年度は移行措置、そして平成32年度からは完全実施となります。すなわち、小学校3・4年生で年間35時間、小学校5・6年生で年間70時間の授業が行われることとなるわけです。

先ほど福元先生のほうから、働き方改革のことが触れられておりましたけれども、小学校の教員のほうから見ますと、これは新たな教科の導入であり、単純に言うと、仕事が増える。負担が増えるということになります。今回、ALTの派遣時間が増加されたことによって、増えた負担が少しでも緩和されることになればよいと、我々としては考えているところであります。またもちろん同時に、児童にとっても、英語に対する興味と関心が高められるということも、期待できるのではないかと考えております。高学年では、読むこととか書くことといったことの指導内容も含まれると聞いております。こういったことも含めて、中学校の英語学習への接続を重視した指導を今後も続けていきたいというふうに考えております。

◎西岡市長 ありがとうございます。3名の教育委員の先生方から、様々な御意見をいただきました。鮎川委員からは、安心・安全対策ということで、御発言がありました。大阪北部地震は、大変痛ましい、とても悲しい事件でございました。それを受けまして、全国的にも公共施設、とりわけ学校施設の安全点検が行われました。本市でも、学校を含め、公共施設の全てを点検させていただきました。全部で11か所、建築基準法上、課題・問題になる点が判明いたしました。順次、そして緊急的に対応させていただいております。第一小学校と緑小学校につきまして、ブロック工事も終了させていただきました。御協力をいただいた学校、保護者、地域関係者の皆様方には感謝を申し上げます。

なお引き続き、通学路など民間施設のブロック塀の安全確保は、全国的な課題となっております。東京都でも、様々な補助制度が創設されているところでございます。小金井市としても今後、どのように民間施設へのブロック塀等の安全確保に向けて取り組んでいけるのか、課題として認識しているところでございます。

それから、学校施設の長寿命化計画につきましては、非常に重要な課題でございます。小金井市の保有している公共施設の約58%は学校教育施設です。そして、学校教育施設のみならず、現在は新庁舎及び（仮称）新福祉会館、不燃系粗大ごみなどの清掃関連施設の再整備を今、優先的に進めているところでございます。なお、公共施設全体の、とりわけ学校施設の今後の施設の在り方については、最重要課題の一つ、これは間違いございません。この後、議題の4で出てきますので、その中で担当の報告も受けながら、考えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それから、放課後の子どもの居場所づくりにつきましては、従来から大きな課題でございました。学童保育、放課後子ども教室など、現在の小金井市の進めている施策との連携、これも非常に重要な課題でありまして、大熊教育長や関係者の方との懇談に積極的に参加していただくなど、現場の方々の声をしっかり聞いて、どのようなニーズがあるのか、現状がどうなっているのかということをしっかり把握して、適切に対応することが重要だと思っております。平成31年度も、これから子ども居場所づくりの充実に向けて、予算も一定措置させていただきましたので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

福元委員からは、校務用パソコンの入替えの関係で、働き方改革につきまして御指摘をいただきました。ありがとうございます。

これまでの取組や様々な背景もありまして、校務用パソコンは長年の課題だったのですが、一定前進をさせていただいたということです。こういったことが、教員の先生方の働き方改革につながるように、担当部課や教育委員会の指導室も、取組を進めてまいりたいと思います。

清里山荘、私も今初めて聞きましたが、計画では1万人の利用を目標に掲げていらっしゃるというのは、大変意欲的な精神で、すばらしいと思いました。少し教育長と話しているのですが、平成31年度中に一緒に行ってみましょうというふうな計画、何とか時間ができれば、我々

も現場を見せていただきたいと思います。新しい指定管理者、今回は地元の企業さんになっていただけると聞いておりますので、施設周辺の様々な企画、あの地域にある多くの魅力と組み合わせた、市民の間から「行ってみたいな」と思われ、リピーターが増えてくるという取組を新指定管理者には担っていただきたいと思いますし、私も来年度、ぜひ泊まりに行きたいと考えております。

図書館・公民館につきましては今後、中長期計画の策定という大きな課題がございます。ソフト面・ハード面、これは両方とも、社会教育の在り方というのは、大きな焦点になっておりますので、引き続き検討を進めていただきたいと思います。

また浅野先生からは、就学相談に関する御指摘をいただきました。就学相談の充実は大きな課題でありましたけれども、昨年、職員体制を充実させていただきました。この就学相談の分野は、これからもとても大切な分野になっていくと私も思っておりますので、引き続き教育委員会として、学校教育部の皆さまを中心に現場の状況やニーズをしっかりと把握していただきながら、適正導入していきたいと思っております。

英語教育であります、私の時代と違って、もう学校には外国人がたくさん来て、ALTの拡充もしております。私も外国人の方が、小学校は確か5年生だったと思いますが、授業中、一言も日本語を使わずに行っている授業の雰囲気を見学させていただきました。子どもたちも、目をきらきらさせながら、コミュニケーションのとれる楽しさを体感しながら、とても素晴らしい授業を進めていただいているなと思えました。イギリス人の先生でございました。外国の方、世界の方々とコミュニケーションをとれるということは、視野も広がりますし、これまでになかったいろいろな知見を得ることにつながると思っておりますので、話すこと、聞くことです。私たちの時代は、どちらかというと、受験向けの英語の勉強が多かったと承知しておりますけれども、そういった面ももちろん大事だと思いますが、コミュニケーションをとれるというのは、とても大切な視点だと思っておりますので、この外国人英語指導委託やALTの拡充は、ぜひ積極的に推進していただきたいと思いますし、教育委員の先生方からも、様々な御助言をいただいて、推進していただければと思っております。

私からのコメントは以上とさせていただきます。

ただいまいただきました御意見を参考にさせていただきながら、今後も、これまで積み上げてきた歴史と伝統を大切にしながらも、時代の要請に応えるために、質的転換もしっかり視野に入れております。そして、2020年に大改訂されます新学習指導要領の方向性をしっかり提示しながら、素晴らしい小金井の教育のさらなる発展のために、教育委員会の皆様と協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

続きまして、議題第2号、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に係る機運醸成についてを議題といたします。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会につきましては、開催が近づくにつれて、都内各所で様々なイベントが開催されている様子などが、連日のように報道されています。本

市におきましても、市民の皆様の関心も高く、大会の成功に向けた機運の醸成も、市内各所で盛り上がりを見せているものと感じています。生涯学習部を中心に鋭意準備を進めていると思いますが、次年度の予定事業などについて、報告をお願いしたいと思います。

なお、東京2020オリンピック・パラリンピック大会につきまして、お配りした市報こがねいの裏面に、関連する記事も載せていただいているところであります。

◎大熊教育長 それでは、生涯学習部オリンピック・パラリンピック担当から、御説明を申し上げます。

◎内田オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 それでは、オリンピック・パラリンピック担当から、御説明申し上げます。

まずはじめに、東八道路などがコースとなります自転車競技についてでございます。本件につきましては、昨年8月にコースが発表されて以降、組織委員会と協力しながら、本市を含む沿線自治体による準備が進められており、本市においても、ボランティアスタッフであるコースサポーターの募集を開始し、多くのお申し込みをいただいているところでございます。

また、本年7月21日、日曜日になりますが、実際のコースを試走するテストイベントが予定されております。今後、沿道の市民に対する説明会などを実施し、関係機関をはじめ市民の皆様のお協力をいただきながら、本番さながらの雰囲気の中で、大会成功に向けた機運醸成の一助としたいと考えております。

次に、例年、体育の日に開催しておりますスポーツイベントでございますが、こちらは、東京2020大会1年前ということに鑑みまして、規模を拡大して実施する予定です。当日は、ニュースポーツの体験やパラリンピックの競技種目であるボッチャ、シッティングバレー等に加え、さきに御説明いたしました自転車競技のバーチャル体験や、昨年度に市民まつりで実施した車椅子レーサーの体験といったものについて、特設ブースを設けて、広く市民の皆様へアピールしていきたいと考えております。

なお、本大会が実施されます2020年7月には、市内を聖火リレーが通過する予定でございますが、現時点では詳細まで確定しておりませんので、本件については新年度以降、取組を加速させてまいります。

最後になりますが、庁内体制でございます。これまでは、生涯学習部が中心となって、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の準備を進めてまいりましたが、今後は市長部局に御協力をいただき、仮称になりますが、東京2020大会推進本部を設置させていただき、全庁一丸となって、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に関連する取組を円滑に実施するとともに、引き続き、大会成功に向けた機運醸成に努めてまいりたいと考えてございます。

◎西岡市長 御報告ありがとうございました。

それでは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に係る機運醸成などにつきまして、御意見、御感想がありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

◎鮎川教育長職務代理者 市内で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技が開催されることは、子どもたちにとって非常に貴重な機会だと思います。また、多くの市民の皆様も期待していらっしゃると思いますので、大会を盛り上げ、貴重な経験を得られるよう、テストイベントや関連イベントの積極的な実施など、機運の醸成とともに、観戦しやすい環境づくりを進めていただきたいと思います。

先ほど担当課長からも、毎年、体育の日に開催していますスポーツイベントのお話がありました。このスポーツイベントに私も毎年参加させていただいております。去年は、パラリンピック競技のシッティングバレーなども体験させていただきました。次年度は、更に規模を拡大ということですので、このように身近に見たり、体験できる機会を増やしていただけると、オリンピックやパラリンピックが一層身近なものに感じられると思います。展開をよろしく願います。

◎西岡市長 ありがとうございます。ほかにございますか。

◎福元委員 大会まで1年余りとなって、子どもたちを含めて、市全体が盛り上がるような事業の展開ができればと考えています。特に子どもたちには、オリンピックとの交流を通じて、トップアスリートと触れ合う機会を設けることができれば、教育的な効果も高いものと思っております。なかなか難しいとは思いますが、ぜひとも、子どもたちの感動体験につながるような事業の実施を期待していきたく思っております。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎浅野委員 先ほど、自転車ロードレースのテストイベントについて、御説明がありました。これについて、2点ほど補足的に申し上げます。

1点目は、このイベントに限らず、今次オリンピックは、ボランティアの皆様の方に大きく依存するところがございます。ですので、ボランティアの方々の負担が過大にならないように、細心の注意を払って進めてまいりたいということをお願い申し上げます。

2点目ですけれども、テストイベントの行われる7月は、例年、とても蒸し暑い時期になります。したがって、観戦される方々はもちろん、ボランティアの方々の熱中症対策も十分に留意するとともに、警察・消防などと連携をとりつつ、事故のない安全な有意義なテストイベントになるよう進めてもらいたいと考えております。

◎西岡市長 ありがとうございます。3名の皆様方から、様々な御意見や御感想をいただきました。共通して言えることは、まずこのロードレース、何よりも安全に大会を運営する。選手の安全はもちろんですが、観戦者の安全確保に向けて、またボランティアの方々の安全確保も大切であると考えております。御承知のように、この時期は、日本は大変な猛暑です。特にロードレースは屋外競技でございますし、ボランティアも観戦者も、また選手も、太陽が出ていれば、極めて暑い中での観戦となります。したがって、本市では、ロードレースで申し上げますれば、東八道路は比較的広い歩道がございますし、観戦上見応えのある道路だと思っておりますが、暑さ対策が必要でございます。ボランティアの方、観戦者の方につきましても、暑さ対策

は、小金井市のみならず必要です。多摩地域では多摩26市中8市を走りまして、神奈川県、静岡県と山梨、240キロぐらいある長いコースですから、この安全対策につきましては、組織委員会、競技団体、各自治体とも連携しながら、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

それから、子どもたちにとっては、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催が、一人一人の子どもたちの人生において、かけがえのない価値、体験を生み出すきっかけとなることと思います。第1回市議会定例会の開会中に部長からも答弁させていただきましたが、東京都のほうは、東京都内の小中学校生徒にパラリンピック観戦をしていただこうと考えておりまして、小金井では全小中学校が、全生徒、観戦に行けるように意思を共有していただいていると聞いておりますので、本物の世界大会をじかに見ていただきたいと思っております。

そして今の学校には、学校主催、PTA主催、総合体育館の指定管理者主催、いろいろな方々が、オリンピック・パラリンピックをお招きしたいろいろな事業を企画してくださっています。かなりのオリンピック・パラリンピックの方が、小金井市にお越しいただいているということで、日本代表を目指している選手も含めて、選手から感動を伝えていただくということは、とてもいいことだと思うので、本番までも可能な限り、このすばらしい事業を生かしていただきたいと思っておりますし、オリンピック・パラリンピックの推進校も、本市公立小中学校では何校かあると伺っておりますので、協力していただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

続きまして、議題第3号、今後の課題についてを議題といたします。

今後の課題として、重要な2点をあげさせていただきます。

1点目は学区域についてです。学区域の見直しにつきましては、昨年と今年第1回の本会議において議題にあげさせていただき、検討を進めていただいているところです。学区域の見直しにつきましては、児童・生徒への影響も大きく、慎重を要するところではありますが、JR中央本線連続立体交差事業の終了後、高架化となり、通学区域の適正化や通学距離の不均衡解消など、市議会からも見直しを求める意見があるなど、注目が集まっております。

また、2点目といたしましては、公共施設マネジメントについてでございます。平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画に基づく施設ごとの個別計画を、平成32年度までに策定する必要がございます。

本市の公共施設のうち、学校教育施設は58%を占めており、そのうち92.2%が、建築から30年以上経過しており、今後、延命化など、こちらも非常に重要な課題であり、注目もされてきているところであります。

これら2点につきましては、市民生活への影響も大きく、教育委員会におかれましては、引き続きスピード感を持って、実現に向けて取り組んでいただくようお願いいたします。

◎大熊教育長 それでは、1点目の学区域、2点目の公共施設個別施設計画について、現在の状況を順次担当から御説明申し上げます。

◎河田学務課長 学区域の見直しの検討状況を御説明いたします。第1回の総合教育会議では、学校長へのアンケートを行ったことを御報告いたしましたので、今回は、その後の検討状況について御報告いたします。

3課合同プロジェクトチームということで、教育長にも入っていただきまして、学校教育部長、庶務課長、学務課長、指導室長のメンバーで、12回ほど検討してございます。

学区域の見直しを考えたときに、全市的な見直しを行うには、将来にわたる人口予測の上、行っていく必要があります。学校の長寿命化計画による大規模修繕や建替えとも連動していくものと考えております。

一方で、喫緊の課題について、今できることを検討しています。

学校規模については、中学校の人数の偏りはあるものの、緑中学校の学級数は、標準学級の12から18学級の間にあります。一方で、小学校では、第三小学校が標準学級数を超過しており、学校運営の面でも課題があることが明らかになりました。

将来の人口動向ですが、教育人口推計や現在の市内の年齢別人口などを見ても、今後5年間、小学校の児童が大きく増加する傾向にあり、受入れの体制を整えていかなければなりません。第三小学校の児童増へ何とか対応していく必要があります。

通学距離や利便性については、把握している箇所はいくつかありますが、学校長アンケートの結果でも、学校に対して特段、保護者からの要望などは出ていないということが分かりました。

このような状況の中で、いくつかの地域について、入学時にあらかじめ指定学校を選択できる調整区域を実施した場合のシミュレーションを行っているところです。調整区域を実施した場合、児童数と学校のキャパシティを見ていきます。

学校長アンケートでは、児童数が増えた場合に、教室が不足するという意見が多くありました。確かに少人数教室や特別支援学級など、過去には見られなかった様々な用途での活用がされている現状はございます。一方で、教室が余っていたときに、例えば教材室や相談室などの用途で使っていて、今もそのままになっている教室も多々あることも把握してございます。ある程度、教育委員会として、教室の活用についての標準的な考え方を学校に理解してもらう必要もあると考えています。学校現場との対話が重要と考えております。

また、検討の中で、小学校の調整区域を設けた場合の中学校への接続の問題も、考慮する必要があることも明らかになりました。

今後、実施の有無も含めて、なるべく早い段階で、具体的なお話ができればと考えているところでございます。

◎三浦庶務課長 それでは、公共施設総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画の策定状況について、現状を御説明いたします。

全国的に公共施設の老朽化が深刻化する中で、文部科学省は平成32年頃までに、各教育委員会に対し、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定を求めているところでござい

ます。本市におきましても、平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定しており、この下部計画として、学校施設の個別計画を策定するよう準備を進めている状況でございます。

先ほど、市長のお言葉にもございましたとおり、小金井市全体の公共施設の床面積のうち、58.0%程度が学校教育系施設であることに鑑みますと、早期に策定したいと考えており、(仮称)第5次小金井市基本構想にも、しかるべき位置づけをしたいと考えているところでございます。と同時に、この計画の中には、学校施設の更新に向けた費用の算出はもちろんのこと、将来の児童数や、今後の学校施設の在り方全体を考慮する必要があるとも考えるところでございます。

現時点では、先進事例を参考としながら、小金井らしい計画の策定に向け、情報収集に努めております。一定の段階に至った場合には教育委員会で御審議いただけるよう、事務局といたしましても、スピード感とスケジュール感を持って取り組み、平成32年度末までには、しかるべき計画をお示ししたいと考えているところでございます。

◎西岡市長 ただいまの学区域の見直し及び公共施設の個別施設計画につきまして、教育委員の皆様から御意見等ございましたら、お聞かせください。

◎鮎川教育長職務代理者 学区域の変更については、具体的に検討が始まっているとの御報告をいただき、とてもありがたく思います。学区域につきましては、大きな課題であると再認識しているところです。具体的な話となりますが、第三小学校の児童の増加については、調整区域の設定とともに、その他、実現可能な対応を様々な観点から検討していただきたいと思っております。

学校施設の個別計画の策定については、今後子どもたちにとって、夢のある計画としていただきたいと思っております。市内の学校も、全国の学校と同様に老朽化が進んでおりますが、その中でも、子どもたちは元気に頑張っています。施設関連につきましては、予算的には大きな負担になるものと思いますが、市長には教育に理解をいただいておりますので、ありがたく思っております。また、予算に関しましては、天野部長をはじめとする企画財政部の皆様のお力もいただかなくてはいけないので、子どもたちにとって生活しやすい学習環境が整備できるよう、夢のある計画を期待しております。よろしくお願いいたします。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎福元委員 学区域の関係については、いつも申し上げていることなのですが、小金井の学校は、地域とのつながりが非常に強いと考えています。地域の意見もしっかり聞いてほしいと重ねて要望しておきます。

次に、学校施設更新についてであります。私は、小金井市内の各学校の配置は、おおむね適正規模だと考えていますが、近年は児童数も増加傾向にあるようです。しかし、だからといって、普通教室はともかく、特別教室の数を必要以上に設置するということではなく、学校の中でも創意工夫を行っていくべきだと考えるところです。

もちろん、特別教室などの専用の教室があれば、学校運営にとって便利ではありますが、こ

れからは、地域と学校がともに発展できる環境の整備も、重要になってくるのではないのでしょうか。

活動内容などによって、部屋の使い方を工夫できる多目的室のような施設の設置を検討することも、考えてみてよいのではないかと考えています。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎浅野委員 学校施設の更新について2点、補足的に申し上げます。

まず1点目なのですが、現在の学校施設は、おおむね昭和40年代に建設されたものが多いと聞いています。先ほど市長からのお話にもありましたけれども、歴史と伝統を踏まえつつ、新しい時代の要請として、例えば学校を取り巻く状況も同じでありまして、教科書の判型みたいなこと一つとってみても、当時作ったロッカーに現在の教科書が入らないといったようなことも、起こっていると伺っております。そういったことに注意しつつ、施設の更新を時代の要請、新しい環境条件にあわせて行っていくことが必要だろうと考えております。それが1点目です。

2点目として、ICT教育、あるいは教育のICT化といってもいいと思うのですが、これは御存じのとおり、非常な速度で現在、進行中であります。したがって、このことを踏まえますと、学校施設の更新に当たって、従来型の部屋を造ったり、物を置いたりというようなところに力点を置くと、やや的外した対応になる危険性もあるかと考えております。要するに、物を入れることではなく、活動に応じる機能を充実させるという方向で考えたほうが良いと思っております。したがって、更新の際には、過度に物を入れることに力点を置くのではなくて、新たな教育活動を支える機能の充実を目指していくべきであろうと考えております。ただし、そのことは、物を入れないことによって、必ずしもお金が安くなるということの意味はしません。ICT教育を実現するためのインフラの整備には、それなりの額のお金がかかりますので、安くなるということではないのですけれども、力点の置き方を変えていくという発想を持つ必要があると考えています。

◎西岡市長 それぞれ3名の委員の方々から、とても重要な御意見、御指摘をいただいております。学区域の見直しにつきましては、引き続き検討いたしたいと思っております。

特に第三小学校が、報告にもありましたように、現在の標準的な規模を超えています。私も今、公立小中学校14校、順番に回りながら、子どもたちと一緒に給食を食べています。10校回らせていただいて、来年度は残り4校、回らせていただきます。このこと自体は、私にとりまして新たな気づきにもつながっております。とても有意義な時間でありまして、第三小学校に行ったときに校長先生から伺ったのですが、現時点で見ても、毎日900食の給食を作っている。学校施設の規模の検討もさることながら、給食室の対応がもう今とても大変で、現状で900食は相当なレベルであるということも伺ったので、子どもたちに提供する様々な学校教育における事業、これにも全体にしっかりと目配りしながら、対応していくことが大切だと感じています。

一方で、学区域の見直しは、これまで鋭意検討していただいている福元先生からのお話もありましたように、当然、保護者や地域の皆様方の御理解を得ながらでないと、これもなかなか改善はしていけないと思っておりますので、この点はしっかり念頭に置いて、検討を進めていただきたいと私自身も思っているところでございます。

それから、浅野委員からも、作った当時と規格が違うということもございました。大変大事な視点だと思いますので、今後の学校設備計画を作っていく中で、将来のことも考えながら、加えてICTの導入といったものも念頭に入れながら、検討していくこととなります。全体の58%を有している学校施設ですので、これからこの公共施設の在り方を、庁内でも体制を強化しながら、また財源も確保しながら取り組んでいく、この課題はとても大きな課題になります。したがって、これは教育委員会と市長部局がともにしっかり連携しながら、今後の在り方についての議論を進展できるように努力してまいりたいと思います。

また、今、詰めていただいている個別計画につきましては、どうぞよろしく願いいたします。

教育委員会におかれましては、引き続き鋭意取り組んでいただきまして、成果を期待させていただきますので、よろしく願いいたします。

続きまして、議題第4号、その他を議題といたします。皆様から何か御発言等ございますでしょうか。

(発言なし)

◎西岡市長 特にないようですので、私のほうから、ぜひ皆様方と課題を改めて共有させていただきたいという思いがありますので、発言をさせていただきたいと思います。

先日、新聞を読んでおりましたら、衝撃的な記事がございました。厚生労働省より公表されております平成29年の人口動態調査によりまして、10歳から14歳の死因といたしまして、戦後初めて、自殺が1位ということになっているという結果を目にしました。将来ある若者が自ら命を絶つということは、あってはならないですし、こんな悲しいことはありません。大変驚きまして、心を痛めているところであります。

また一方で、皆さんも御承知のように、昨今、児童虐待というものによりまして、本当に大切な小さな命が消えてしまったという悲惨な死亡事件も発生しておりまして、そういった事件が発生するにつけ、言葉を失います。本当につらい悲しい出来事です。私たちのまち小金井市において、子どもを含めて市民の皆様方が、改めて自分の命や人の命を大切にしていきたいと思います、改めて痛感しているところでございます。

小金井市は、とてもすばらしい地域であります。そして学校・家庭・地域の連携も、私は、小金井はすばらしいもの、つながりというものをずっとつないでいただいているまちだと思っています。子どもたち、最近では高齢者の方もそうなんですけれども、人を温かく見守るたくさんの方、たくさんの方々の市民の方々、事業者の方々、関係者の方々、そういった方々で、まちを、関係行政機関だけにお任せするのではなく、日頃から私たち市民、皆さんが、地域の温か

い見守りの目や耳となって、このまちを支えていると。そういうまちをやはり創っていきたいと思っております。そういう状況の中で、子どもたちには、改めて、かけがいのない命の大切さを伝えていかなければいけないと思います。

教育委員会におかれましては、これまでも、様々取り組まれていることは十分承知しておりますが、引き続き、対応をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

◎大熊教育長 今、市長から言われました命を大切にすることは、何をおいても最重要課題として、教育は進んでいかなければならないと捉えています。そういうときに、これまでの事例をもう一度、改めて考えてみますと、その子は悩みを抱えて、それが一人で抱え込むことによって、悩みがより深くなり、それを持ち切れなくなったときに、最悪の状態を選択してしまったということが考えられると思います。

ですから、まず最初に、いつでも誰でも相談できる体制を学校の中に構築していくことが、最重要であると捉えております。それを実現するために、これまでも、様々な施策に取り組んでまいりました。一つは、SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料ということで、学年に応じたビデオ映像がありまして、このことを各学校で取り組んでいただいております。

それから、小学校5年生と中学校1年生は、全ての子どもがカウンセラーと相談できる機会を設けているところで、悩みがある場合は、そこで相談できるようになっております。

また、休み明け、4月、9月、1月の最初の日に、休んだ子どもがいた場合は、全ての子どもに学校からアポイントをとる。そして状況を確認するということをして、そこで問題を抱えているようであれば、すぐに相談に応じるという形をとらせていただいております。

また、いじめの実態調査に関しては、6月と11月と2月に調査を行い、いじめられていることがあって、それまで相談できなくても、そこで匿名で子どもたちの気持ちを聞く機会を設けておりますので、それまで相談できなくても、そういう機会に子どもたちが学校の先生に、自分の今の在り方を、今の悩みを話せる機会となれば、よいかなと思っております。

さらに今年は、他市で起こってしまった不幸な事例もありましたので、11月の段階では、いじめの調査とともに、SNSの実態調査を全校、全児童・生徒のSNSの活用状況についても、調査をさせていただき、今、その分析を進めておりますが、今後、その分析に応じて、学校体制も整えてまいりたいと思っております。

これだけではなくて、先ほど鮎川委員からも御指摘があったように、今の子育ては、本当に様々な情報がインターネット等、テレビ等、それぞれのメディアから、子育てはこうあるべきというような情報がたくさん寄せられたり、子どもの今、どういうぐらいの学力をつければ、どのぐらいの学校に行けるかなんていう情報も、周りにあふれているわけです。そういう様々な情報がある中で、子育てと言われるものは、親だけでできるものではなくて、学校、地域を含めて、総合的に相談体制を整えていくという地域づくりも今後、大切になってくると思っております。このことについても、これは教育委員会だけでできることではないので、他の課と

連携をとりまして、進めていきたいと考えているところです。

◎西岡市長 ありがとうございます。改めて、市民の皆様とともに、命の尊さへの想いを大切にしていきたいと思います。

最後に、教育長から総括をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

◎大熊教育長 これまで、教育長に就任してからの1年間の総括を述べさせていただきました。まず最初にやったのは、敷地内全面禁煙だったかと。それから、今日は出てきませんでしたけれども、ハラスメント防止条例を策定するとともに、新学習指導要領に向けての授業改革にかなり力を尽くしてきたと思います。それ以外にも、熱中症対策とか不登校対策、それからいじめ防止条例策定に向けて一步を進めたことは、大きな転換になっているのではないかと思います。

その中で一番大事な点というのは、新学習指導要領の改訂に向けて、先行き不透明な社会でも、たくましく生きる子どもたちを育てなければならず、今までと同じような、教師が一方的に教えるだけの授業は、変えていかなければならないと強く思います。そして、子どもたち一人一人のよさが生きる学校を創っていく必要があると考えています。

生涯学習のほうに目を転じてみると、オリンピック・パラリンピックは十分に語らせていただきましたが、中でも清里山荘は大きな一つ目標を立てさせていただきました。1万人と言われるものは、非常に高い目標ではあると思うのですが、3年間で、1万人の目標を掲げて、管理者とともに、教育委員会としても全力で取り組んでいきたいと思っています。

それから、今年大きく変えたところは、コミュニティスクール設置へ向けて、大きくかじを切ったところではないかなと思っています。これは、いわゆるコミュニティスクールということではなくて、小金井型コミュニティスクールという言い方をさせていただきたいと思うのですが、どうしてそういうことを言うかということ、小金井には、市長はいつも言われているように、豊富な教育力が地域に充実しております。しかし残念ながら、それが一つにまとまっているということではなくて、それぞれが頑張っているという状況があります。それを改めて構築していくためには、それぞれ頑張っている各団体の人たちが、お互いに連携をとることだと思っています。

しかし、それぞれが頑張っていますので、一律にこうせよというような形で改革を進めることは、不可能であると考え、学校を中心とした地域協働を創り上げるためにも、このコミュニティスクールを創り上げていく必要があるなと考えているところです。

それから、先ほど成果を上げた一つとして、学務課から報告させていただいた就学時の就学相談員の方の取組の一つ報告させていただきたいのですが、就学相談に来た方が不登校になってしまった。その子を学校に送り届けるために、学務課長の配慮で、その人の勤務時間を少しかえて、朝、学校に迎えに行ってもらいました。それを続けていくうちに、その子は学校に通えるようになり、市長が行かれた第一小学校では、全ての子が卒業式に出席することができました。つまり、そういう地道な活動がない限り、全ての子どもが卒業式に出席するというのは、

本当に難しいことだと考えますが、そういうことがあって、第一小学校の卒業式に6年生が全員参加できたというところがあり、そういうことを一つの目標にして、これからも頑張っていきたいと思っています。

そのことは、今回新しく作りました名刺の裏に、教育委員会の目標を創らせていただきまして、市長にも見ていただきたいのですが、全ての目標を書かせていただきました。その一番上のところに、一人一人の子どものその子らしさを最大限伸ばす適切な関わりを推進できるチーム学校の創造、これが学校教育部として進めていきたい目標として掲げさせていただきました。

それから、生涯学習部のほうでは、人生100年時代を踏まえ、生きがいを持てる生涯学習の推進という形で、取り組ませていただきたいと思います。細かい目標は、その下に書かせていただきました。

その中でも、特に来年度取り組んでいく内容は、子どもの放課後の充実の件。それから、全ての人たちが生きがいを持って取り組める生涯学習の推進。そして、学校教育においては、授業改革は今、進めておりますので、地域のきずなを切らない学区域の再編成。正確に言うと、選択地域のある学区域再編成を行い、子どもたちが豊かに学べる土壌を創っていきたくと思いますが、それらを踏まえていきますと、先ほども言いましたように、子育ては一人の家族だけでは無理が出てきますので、学校と地域と家族、家庭が一体となって子育てができるように、子育てをオール小金井でやっていけるというところに全力を尽くしてまいりたいと思いますので、どうか御理解と、それに対する財政面での支援もいただきながら推進していきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

◎西岡市長 教育長から総括、御発言をいただきました。ありがとうございます。

では最後、私のほうから申し上げて、会議を終了させていただきたいと思いますが、よろしいですか。

今日は、非常に重要な議題をテーマとして、教育長、教育委員の皆様方から、大変価値ある重要な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

子育て・子育で・教育環境の向上は、私としても施政方針に掲げさせていただいておりますが、小金井市としては重要な旗印だということで、住んでいる方々や、またこの地で生まれた大切な命、健やかに育まれていく、そういうまちでありたいと願っておりますし、私も、そのためにこの場所に立たせていただいております。今後とも、教育委員会の皆様方の小金井の教育推進、皆様方の方針や目標を尊重させていただきながら、私も市長といたしまして、皆様方と力を合わせてまいりたいと思います。

また、最近では、いろいろな担当部署もありますが、ほとんどの課題が、横断的に取り組む課題ばかりであります。したがって、公共施設の問題もそうですし、命を大切に、そういうまちであるためにも、これはもう全庁で取り組まなければいけない課題です。東京2020オリンピック・パラリンピック大会につきましても、先ほど担当からありましたように、本番に向けましては、私たちが何のために、誰のために何をなすのか。今を生きる私たちが、将

来のために何が残していけるのか。そのことをしっかりと見きわめながら、進めていかなければならないと考えております。平成30年度、今日で最終週となりまして、来週4月1日のお昼には、新元号が発表されるとの報道がありました。新年度、そして新たな元号と、新しい時代へと進んでまいります。これからも皆様方と力をあわせて、取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、予定した議題は全て終了しました。

引き続き皆様のお力添えをお願いしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

以上で、平成30年度第2回総合教育会議を終了いたします。

皆様、ありがとうございました。

(午後5時22分散会)